

平成30年12月期 決算説明資料





目 次

I . 会社概要及び事業内容	2
II . 平成30年 決算概要	4
III . 平成30年 トピックス	7
IV . 事業イノベーション	15
V . 今後の新たな成長戦略	19
VI . 成長イメージ	23
参考資料	25





I. 会社概要及び事業内容





会社概要

商号	株式会社土木管理総合試験所(6171) C.E.Management Integrated Laboratory Co.Ltd
本社	【長野本社】長野県千曲市雨宮2347-3 【東京本社】東京都台東区上野5-15-14-5F
事業所	2本社、17支店、3出張所、4試験センター
資本金	11億8,126万1,000円
従業員数	393人(平成30年12月31日現在)
設立	昭和60年10月
事業内容	試験総合サービス事業:土質・地質調査試験、非破壊調査試験、 環境調査試験 地盤補強サービス事業:地盤補強工事 その他事業:試験機器販売等





Ⅱ. 平成30年 決算概要





平成30年 決算概況

国土管理総合試験所

(百万円)

	平成29年12月期	平成30年12月期	前期比(%)
売上高	4,800	5,650	117.7
営業利益	313	518	165.5
経常利益	308	522	169.5
当期純利益	188	351	186.7
一株あたり当期純利益(円)	15.19	25.01	164.6

※前年との比較を行うため、単体決算の数値を記載しております。





セグメント別内訳

試験総合サービス事業

(百万円)

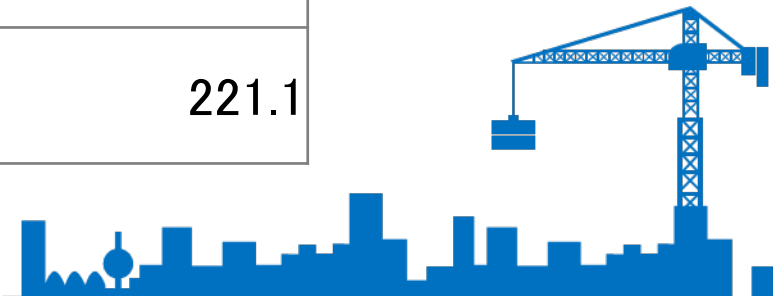
	平成29年12月期	平成30年12月期	前期比(%)
売上高	4,369	4,984	114.1
セグメント利益	865	992	114.6

地盤補強サービス事業

(百万円)

	平成29年12月期	平成30年12月期	前期比(%)
売上高	387	506	130.7
セグメント利益	19	42	221.1

※前年との比較を行うため、単体決算の数値を記載しております。





Ⅲ. 平成30年 トピックス





平成30年 トピックス

国土管理総合試験所

平成30年の実績：売上利益ともに過去最高を達成



インフラストックの維持管理業務・新規事業の土壌浄化工事の進捗



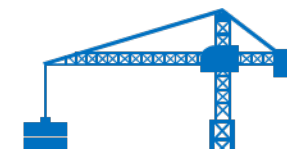
ラボラトリーの充実：積極的な設備投資



システム技術の開発強化：AI技術・試験機自動化・3D設計



予算管理の徹底による利益率の改善

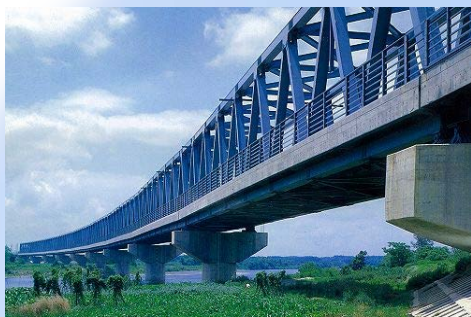


インフラストック維持管理

平成26年の法改正により、2m以上の橋梁及びトンネルは、5年に1回の定期点検が義務化

- ・点検が必要な橋梁は約70万橋、トンネルは約1万本
- ・道路の舗装面の老朽化、地下空洞化等で調査距離は膨大！高速道路総延長9,341km、一般国道65,843kmに及ぶ！
- ・ブロック塀の倒壊や既存構造物の劣化も社会問題化

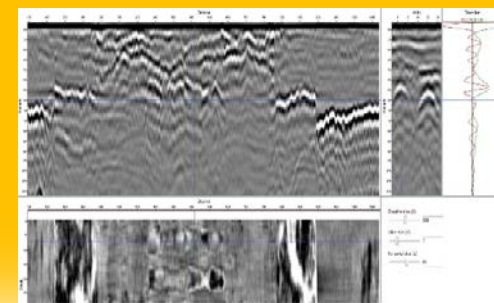
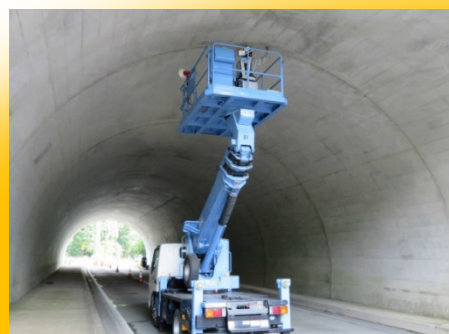
社会問題となっているインフラの老朽化



問題解決



DKが持つ様々な技術力で対応可能





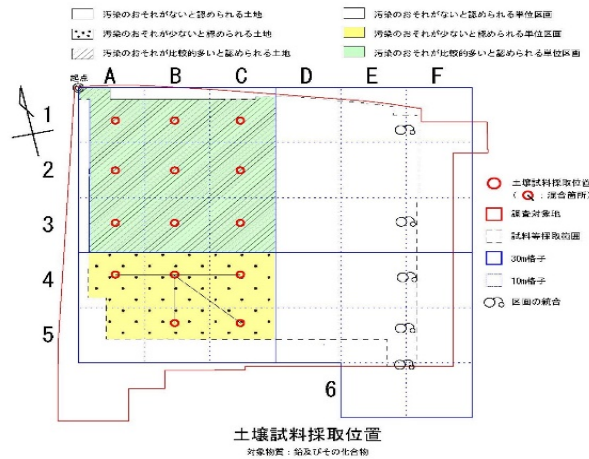
土壌浄化工事

調査から浄化工事
までワンストップで
対応することで
客単価の向上、
案件の大型化



浄化工事

顧客ニーズ



土壌汚染調査・分析

顧客ニーズに応じて浄化工事まで実施



ラボラトリーの充実

国土管理総合試験所

設備投資額

平成29年:6.2億円、平成30年:7.3億円 前年比117%

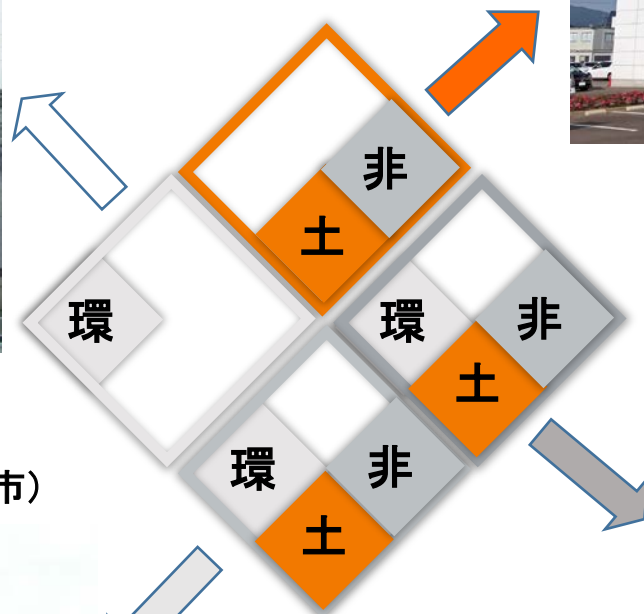
環境分析センター(長野県長野市)



中央試験センター(長野県千曲市)



中央試験センターでは、作業効率の改善を目指して、自動試料分取装置を開発・設置



西日本試験センター(山口県山口市)



東日本試験センター(宮城県仙台市)



土 土質試験

非 非破壊試験

環 環境分析

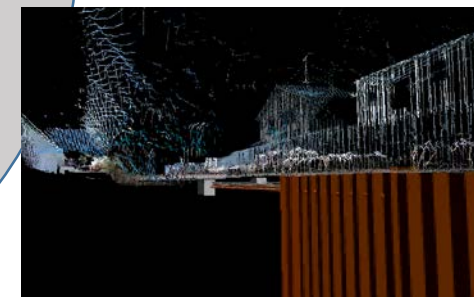
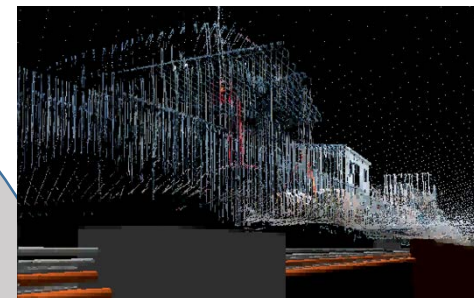
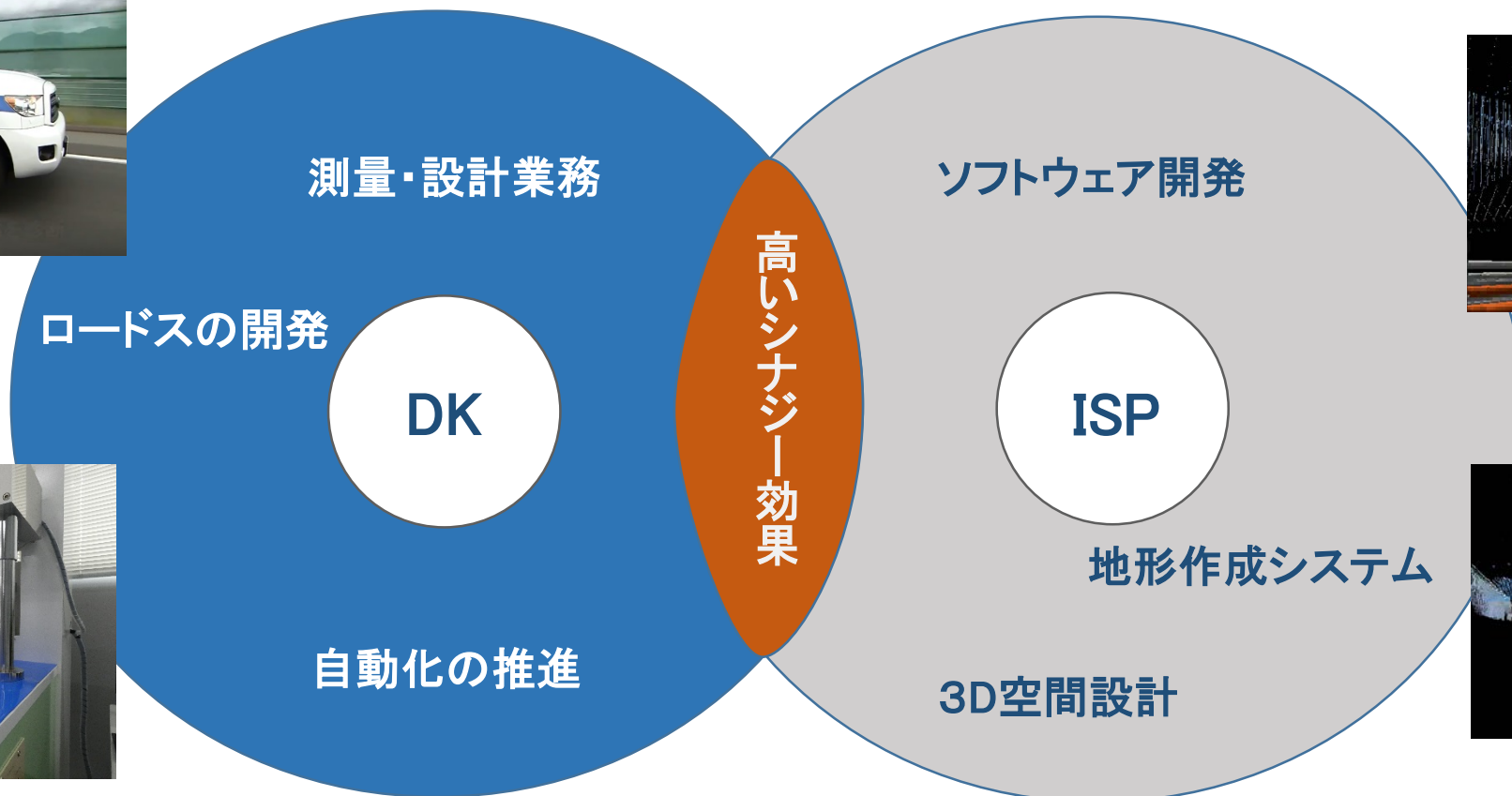


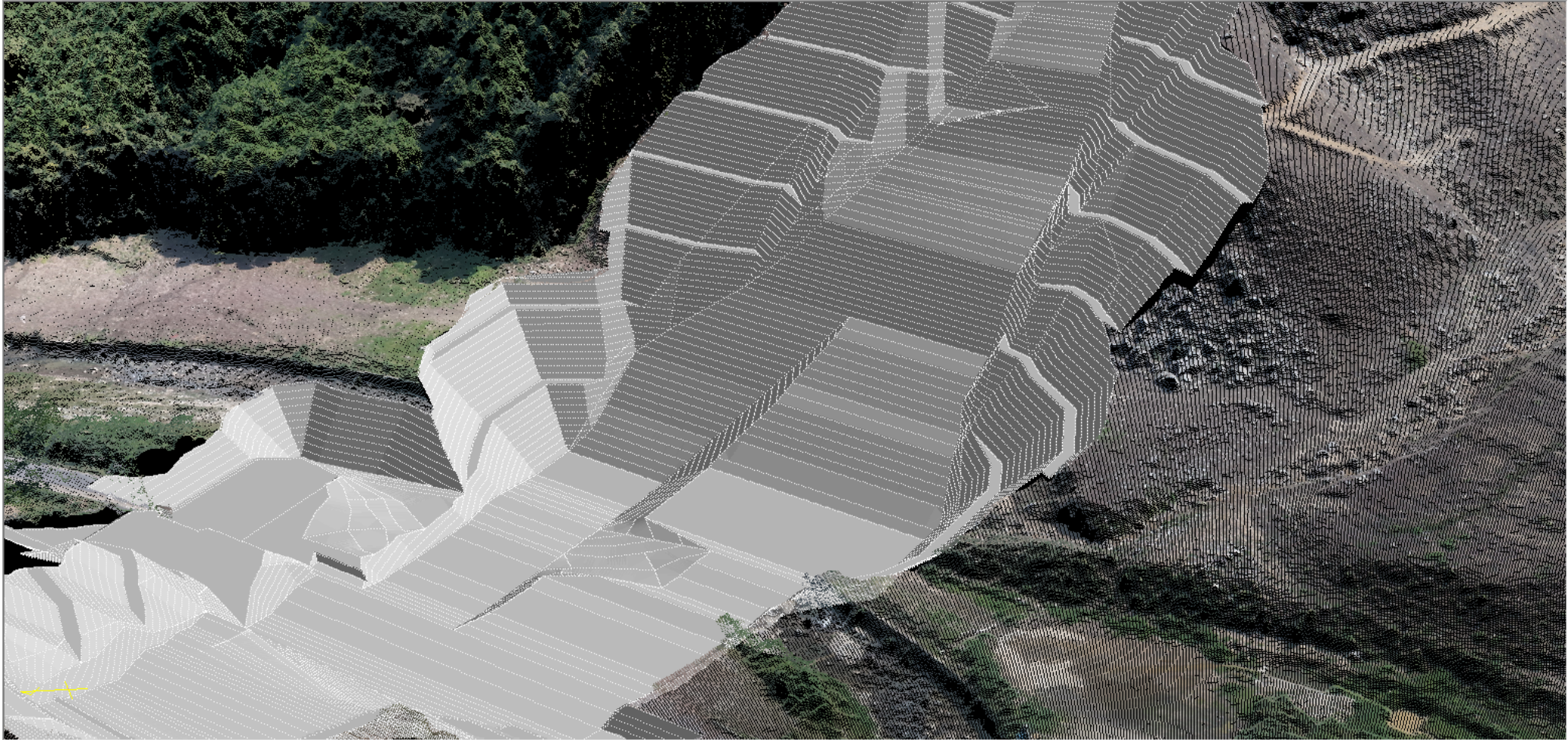


システム技術の強化

(株) ISP (Integrated Software Products)の子会社化

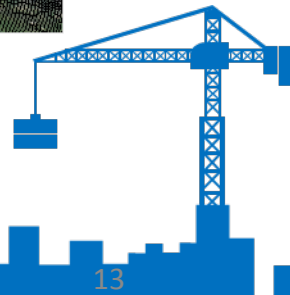
ISPの土木測量設計プログラム等のソフトウェア開発技術が当社の測量・設計業務や情報システム技術の強化につながり、高いシナジー効果が期待できる。





UAV(無人飛行機)で撮影した写真から点群データを作成
ダム本体が入る部分の掘削形状を3Dモデル化
地元説明・現況との摺り付け確認などに利用

※提供: 玉石重機(株)I・T・R・C



予算管理の徹底による利益率の改善

- ・実行予算の精度向上
- ・徹底した大型案件の進捗管理を実施

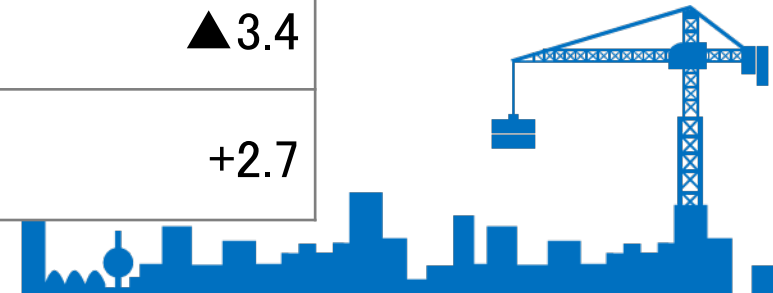


営業利益率 前年比 **+2.7%**
 販売管理費率 前年比 **▲3.4%**

(百万円)

	平成29年12月期	平成30年12月期	前期比(%)
売上高	4,800	5,650	117.7
販売管理費	1,293	1,327	102.6
営業利益	313	518	165.5
売上高販管費率(%)	26.9	23.5	▲3.4
営業利益率(%)	6.5	9.2	+2.7

※前年との比較を行うため、単体決算の数値を記載しております。





IV. 事業イノベーション



自動化への取組み



自動試料分取装置開発・導入



- ・従業員の負担軽減
- ・自動化による作業の効率化
- ・コスト削減による利益率の改善





スマート立会【ラボコネ】

※ 商標登録完了

Laboratory × Connect

ラボの試験状況がネットで見学できる



東北～九州まで試験状況を配信中

実績増加



実績の増加に伴い顧客ニーズが明確に
例)タブレット ⇒ 大型モニタで視聴したい



室内試験だけでなく、現場試験の立会や
解析業務の打合せにも利用が拡大中



発注者の同席件数が大幅に増加



生産性向上・効率化で発注者の関心高い

業務	平成29年	平成30年	合計
土質試験	7	39	46
非破壊試験	0	48	48
合計	7	87	94





ロードスの展開

国土管理総合試験所

ロードスシステム完成

- ・ロードス試行導入
- ・営業展開(展示会等)

2018

2019



ロードス販売開始・受注へ

- ・自治体
- ・道路管理者等





V. 今後の新たな成長戦略





受注形態の変更

DKとして「新しい成長のかたち」をスタートする

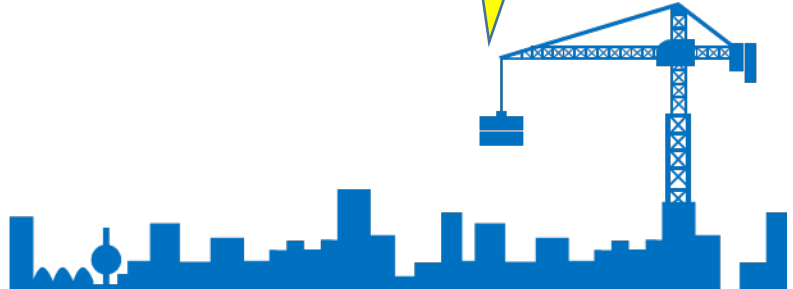
F: FC店(フランチャイズ店)

地域密着型営業

新しい事業形態

DKブランドの進化

- ・DK社員を主要拠点へ集約
- ・地方拠点はFC店に継承





次世代への変革 - DKC Labo(土木管理コンサルティングラボ)の発足

国土管理総合試験所

高度コンサルティングのプロ集団

DKCラボ

$f(x) * g(x) = \int f(x-y)g(y)dy$
 $f(x) = F(k)e^{-2\pi i k x dk}$

技術革新

高度技術開発

A I

アルゴリズム

信号処理技術

内部体制強化

業界への展開

新規業務に発展

最新のコンサルタント

ロードスの進化
自動化・IOT

業界へのコンサルタント

新しいDKの形





海外展開

土木管理総合試験所

ベトナムオフィスの開設

ベトナム ハノイに駐在所を設置予定
市場調査をスタートさせる



オフィスエントランス



オフィス



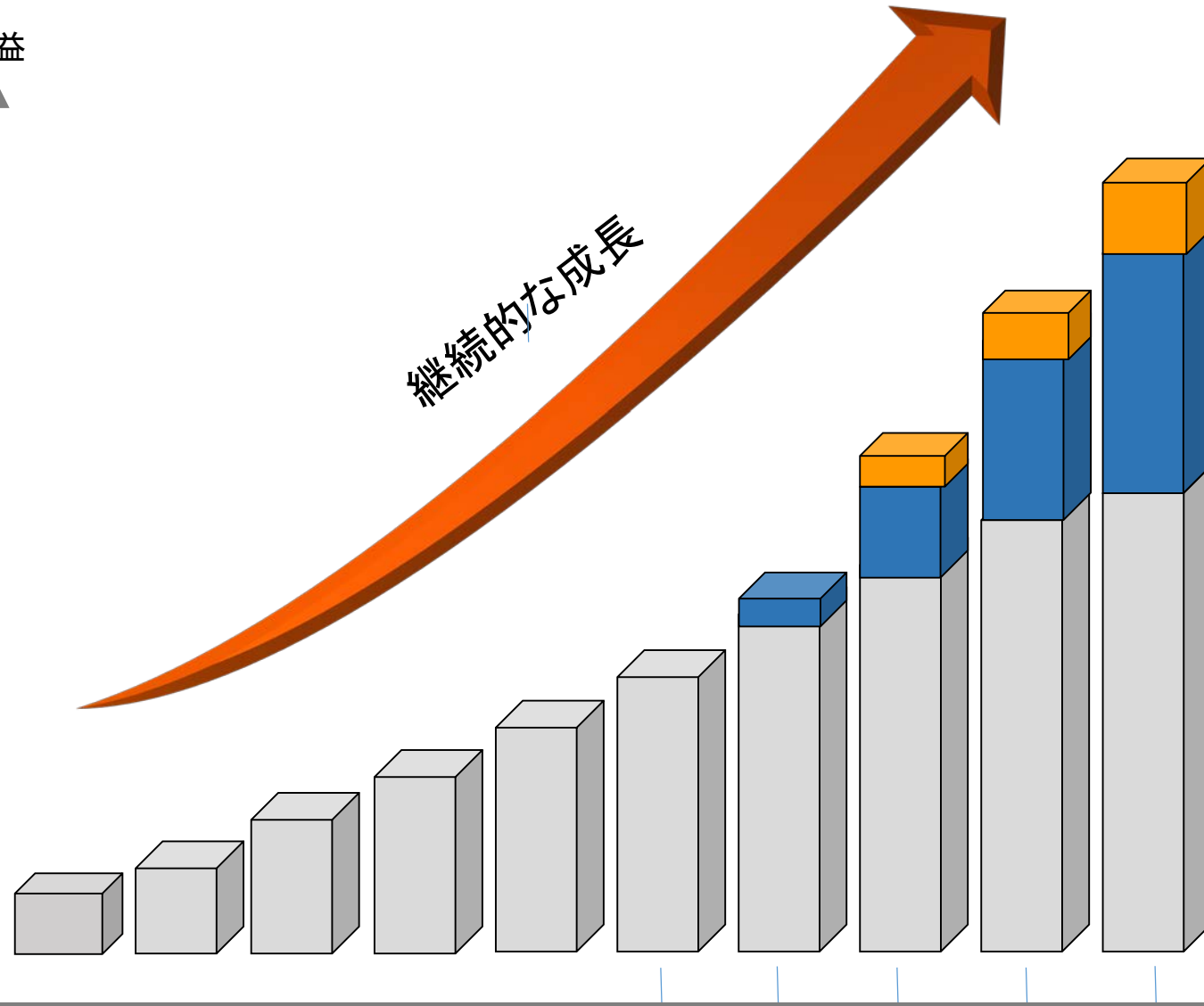


VI. 成長イメージ



成長イメージ

収益



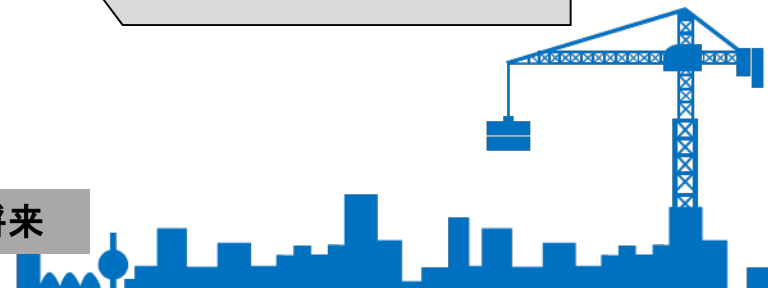
2018/12期

将来

・海外展開
・M&A

・イノベーション事業
ロードス・ラボコネ・
ラボ自動化
・成長戦略
DKCラボ・FC展開

基幹業務の拡充
土質・地質調査試験
非破壊調査試験
環境調査試験





参考資料





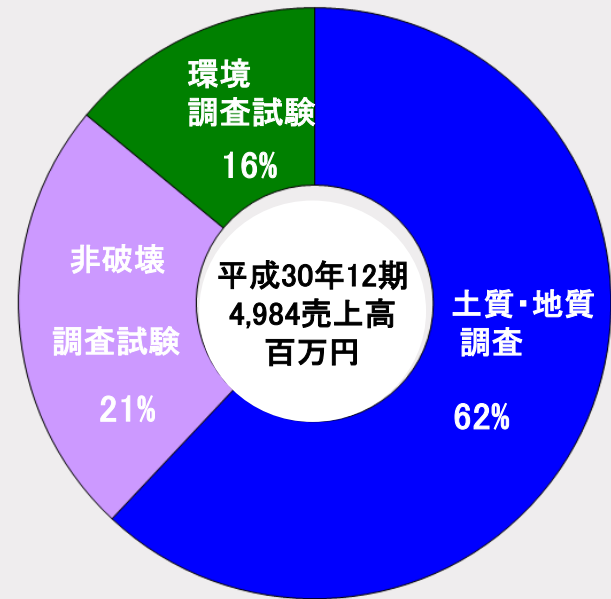
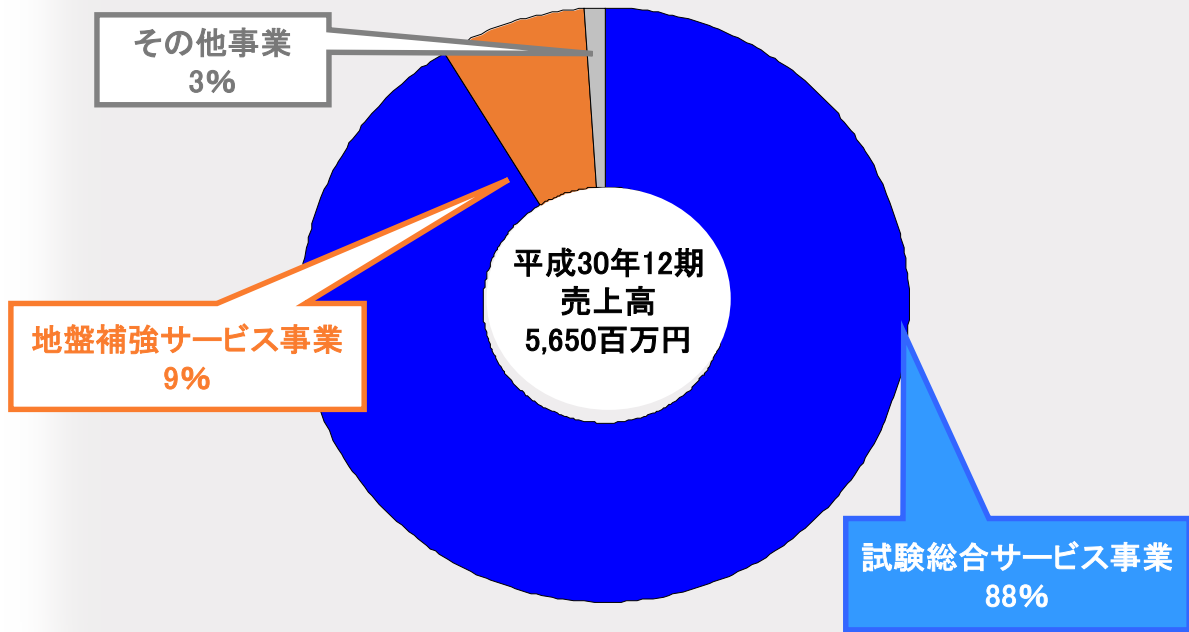
事業の内訳

国土管理総合試験所

平成30年12月期

セグメント別売上高内訳

試験総合サービス事業売上高内訳





CSR活動

土木管理総合試験所では次世代の育成、地域の安全・安心に焦点を当てたCSR活動に取り組んでいます

5. 環境イベント



1. SIP

(戦略的イノベーション
創造プログラム)



2. 職場体験学習



4. 社会福祉活動



3. 地域イベント



【ご注意事項】

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 管理部企画課

TEL:03-5846-8385 / FAX:03-5846-8386

E-mail : sikenjyo@dksiken.co.jp

〒110-0005

東京都台東区上野5-15-14-5F

